



## 「学校に行くのは楽しい」が90.3%に！

12月に、児童と保護者に向けた学校評価アンケートを行いました。その項目の中からいくつかピックアップして紹介します。(詳しい結果等は、2月以降にお知らせする予定です)

まず、児童アンケートの「学校に行くのは楽しい」という項目では、90.3% (全校児童718名中およそ648名)が「当てはまる」「やや当てはまる」との回答でした。昨年度と同項目では、86.7%でしたので、3.6ポイント上昇したことになります。数字の上では、初めて90%を越えました。廊下ですれ違う4年生の子が、「校長先生、毎日学校楽しいよ！ 校長先生はどう？」と聞いてくれます。「そうか～楽しいんだね！ いいねえ～！ 校長先生も毎日楽しいよ！ いろいろなことが起こるからね～」と答えています。保護者の方は、「お子さんは、授業や行事を楽しみにして、笑顔で通学している」という項目で、「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた方が89.0%でした。昨年度から0.7ポイント上昇しています。保護者の方も、実感として思っているということが分かり、とてもうれしい気持ちになります。ですが、児童で「当てはまらない」と回答したのが3.4% (およそ24名)ありました。

100%は厳しいかもしれませんが、現状に満足せず、少しでも学校が楽しい場所であるように、子どもたちの主体性を引き出せるように、今後も取り組んでいきます。

次に、児童アンケート「自分の考えを説明したり、文章にしたりすることは得意である」という項目で、「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた児童は、71.8% (およそ515名)でした。昨年度から7.8ポイント上昇しました。保護者アンケートでは、同項目で「当てはまる」「やや当てはまる」との回答は、52.5%となりました。教員の受け止めもやや複雑で、どうしても個人差が出てきてしまうところでもあり、分析が難しいなと感じています。

また、「書くこと」については、我々職員の中でも話題になっていることがあります。タブレット(キーボード)を使って入力することと、鉛筆を持って紙に書くことのバランスをどう取るか、ということです。

### ★タブレット★

#### 【メリット】

- ・入力早い
- ・消しやすい、やり直しやすい
- ・資料の共有、保存が簡単

#### 【デメリット】

- ・筆圧、運筆がやりにくい
- ・誤変換に依存してしまう
- ・姿勢や目が悪くなりやすい

### ◆手書き◆

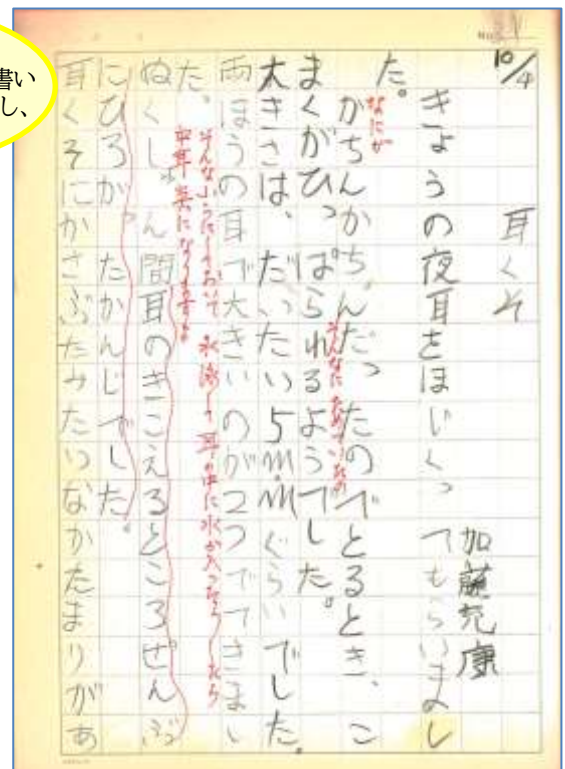
#### 【メリット】

- ・運筆によって脳が活性化
- ・文字の形、バランス等、視覚と手の感覚で覚えらる
- ・深く考えながら書くという習慣

#### 【デメリット】

- ・書き直しに時間がかかる
- ・長文になると時間がかかる
- ・共有や保存がしづらい
- ・苦手な子は負担が大きい

3年生の時の日記が出てきました。ほとんど毎日書いていた気がします。しかし、「耳くそ」とは…。



キーボード入力なら、文章書くのが苦手、という人も取り組みやすい。7ポイント以上上昇した要因の一つかもしれません。ですが、私としては、「鉛筆を持って書く」ということは五感を使って書くということであり、小学校のうちとはとても大切なことだと思っています。一人一人の学習状況、授業内容等を見極めながら、デジタルとアナログの「いいとこどり」を目指していきます。

日	曜	2月行事予定	下校時刻	日	曜	3月行事予定	下校時刻
1	日	土と版画展	/	1	日		/
2	月	■ALT来校 ■学校司書来校 記名の日(ハンカチ、ティッシュ)	①②14:10 ③④⑤⑥15:00	2	月	■学校司書来校 ◎大掃除週間(～3/14) ◎あいさつ週間(～3/6) (全校集会)朝活:大掃除週間(～3/13) (6年)卒業式練習開始	①②14:10 ③④⑤⑥15:00
3	火	(1・2年)参観日・学級懇談会 第5時:授業参観 ※(2年生)感謝の会 懇談会14:40～	15:00	3	火	【特別日課 6時間目カット】～3/19 記名の日(給食セット)	14:40
4	水	■学校司書来校 (3・4年)参観日・学級懇談会 第5時:授業参観 懇談会14:40～ (4年生)合唱披露(体育館)	15:00	4	水	■ALT来校 ■学校司書来校 ペア遊び④(感謝の会) 班別下校(新年度班への引継ぎ)	15:00 班別
5	木	■ALT来校 (5・6年)参観日・学級懇談会 第5時:授業参観 懇談会14:40～ 学校運営協議会③	15:00	5	木	■ALT来校 ■SSW来校 【特別日課 12年5時間目カット】～3/19	①②13:50 ③④⑤⑥14:40
6	金	■ALT来校 ■学校司書来校	①14:10 ②③④⑤⑥15:00 ④⑤⑥15:50	6	金	■ALT来校 ■学校司書来校(研修)	①②14:10 ③④⑤⑥15:00
7	土	/	/	7	土	/	/
8	日	/	/	8	日	/	/
9	月	■ALT来校 ■学校司書来校 たじっ子チャレンジ重点期間③(～2/15)	①②14:10 ③④⑤⑥15:00	9	月	■学校司書来校 (5年)R8前期委員長選挙	①②14:10 ③④⑤⑥15:00
10	火	/	①③④⑤⑥14:40 ④⑤⑥15:30	10	火	/	①②13:50 ③④⑤⑥14:40
11	水	建国記念の日	/	11	水	■ALT来校 ■学校司書来校	①②14:10 ③④⑤⑥15:00
12	木	■ALT来校	①②14:40 ③④⑤⑥15:30	12	木	■ALT来校 ■SSW来校(最終) (6年)中学校半日入学 新地区班会委員会19:00	①②13:50 ③④⑤⑥14:40 ⑥半日入学終 わり次第
13	金	■ALT来校 ■学校司書来校	①14:10 ②③④⑤⑥15:00 ④⑤⑥15:50	13	金	■ALT来校 ■学校司書来校 PTA新旧本部役員会19:00	①②14:10 ③④⑤⑥15:00
14	土	/	/	14	土	/	/
15	日	家庭の日(岐阜県条例による)	/	15	日	家庭の日(岐阜県条例による)	/
16	月	■ALT来校 ■学校司書来校	①②14:10 ③④⑤⑥15:00	16	月	■ALT来校 ■学校司書来校 PTA会計監査(学年会計)	①②14:10 ③④⑤⑥15:00
17	火	■ALT来校 ■SC来校(最終) (5・6年)第6時:委員会(後期③最終) ひまわりコンサート(昼休み・体育館)	①④⑤⑥14:40 ⑤⑥15:30	17	火	/	①②13:50 ③④⑤⑥14:40
18	水	■学校司書来校 ■S来校(最終) (ひまわり)第5時:授業参観	15:00	18	水	■学校司書来校	①②14:10 ③④⑤⑥15:00
19	木	/	①②14:40 ③④⑤⑥15:30	19	木	■ALT来校	①②13:50 ③④⑤⑥14:40
20	金	■ALT来校 ■学校司書来校 学校保健安全委員会14:00	①14:10 ②③④⑤⑥15:00 ④⑤⑥15:50	20	金	春分の日	/
21	土	/	/	21	土	/	/
22	日	/	/	22	日	/	/
23	月	天皇誕生日	/	23	月	■ALT来校 ■学校司書来校 にこにこ挨拶運動 (6年)卒業式総練習 PTA会計監査	①②14:10 ③④⑤⑥15:00
24	火	■ALT来校 にこにこ挨拶運動 (5年)6年生を送る会準備	①③④⑤⑥14:40 ④⑤⑥15:30	24	火	■ALT来校 【特別日課(卒業式準備)】1～4・6年:4時 間授業 (5年)第5時:卒業式式場準備	13:25 班別 ⑤は 15:10
25	水	■学校司書来校 (全校)第3・4時:6年生を送る会	15:00	25	水	■学校司書来校 【特別日課(卒業証書授与式)】 (6年)卒業証書授与式 (6年)学級解散式 (1～5年)休み	11:15 頃
26	木	昼休み:新旧通学班長・副班長会⑤ (6年)小泉中生徒指導主事の話の聞く会②	①②14:40 ③④⑤⑥15:30	26	木	【特別日課(修了式・離任式)】3時間授業 (1～5年)第1時:修了式・離任式	11:50 班別
27	金	■学校司書来校 (6年)第6時:奉仕作業	①14:10 ②③④⑤⑥15:00 ④⑤⑥15:50	27	金	学年末休業日開始	/
28	土	/	/	28	土	学年末休業日	/
				29	日	学年末休業日	/
				30	月	学年末休業日	/
				31	火	学年末休業日	/

### そうか、自分も、ちょっといいかも…②

### 親育ち4363たじみプラン事務局

私は5人兄弟の末っ子として、高度経済成長のまったただ中で育ちました。世の中の高揚感、子どもの感性にもどこか華やかに伝わりました。玩具屋さんのショーウィンドウには、海外製も含めた魅力的なおもちゃがこれでもかと並びます。パービー、リカちゃん、レーシングカー、プラレールに光線銃。そのきらめきがまぶしくて、恐る恐るねだってみますが、「辛抱せなかん!」。両親からは、大抵はこの一言で片づけられました。だからごくたまに、お祭りの夜店などで、小さなおもちゃを買ってもらえたときには、まるで夢見心地でした。心が震えるほど嬉しかったあの感覚は、今も覚えています。

景気のいい自営業のお家の友達が、誇らしげに、次々に新しいおもちゃを見せてくれるのがうらやましくなかったと言えば嘘になります。しかし、いつの頃からか、あの日々の両親は、私にとっても大きなものをくれたのだと思うようになりました。小さなおもちゃを、心が震えるほどうれしいと思うことができたのは、「辛抱」の体験があったからではないのか。そのことで、ささやかな幸せを、最大の感激や喜びに変換することができる「感性」が育てられたとしたならば、それこそが、両親が私にくれた最高のプレゼントなのだ、今は心から思っています。

(教育推進課 家庭教育担当)